



着付け体験



▲ジェレミー・ベンステッド市長も来てくれました(左が八重樫記者、右が村松記者)

**取材文**  
**村松鈴音**  
 (石巻高校1年生)  
**八重樫蓮**  
 (石巻工業高校1年生)

まるでここが英国であることを忘れてしまふような一日だ。嘉悦ケンブリッジ教育文化センターには、この日、ケンブリッジ市内外から600人近くの人々が訪れ、日本文化を体験し、五感で楽しんだ。「ジャパン・デー」は、今回で14回目。「1回目は、2003年3月、在英日本大使館の奥克彦参事官(当時)のお声かけで行われました。

# 日本文化に親しむ1日

2017年3月18日、嘉悦ケンブリッジ教育文化センター(英国・ケンジ市)で「JAPAN DAY」というイベントが開催された。日本文化にふれたいと、毎年同センターが主催している。今回、私たちは大震災の経験と学びをケンブリッジのみならずと共有するために渡英し

ホールでは、舞台上でさまざまな日本文化デモンストレーションが行われ、146席ある観客席は立ち見がでるほどの賑わいだ。茶道のデモンストレーションでは、和菓子と目の前で点てたお茶が観客にふるまわれ、初めての抹茶に「苦い」という声

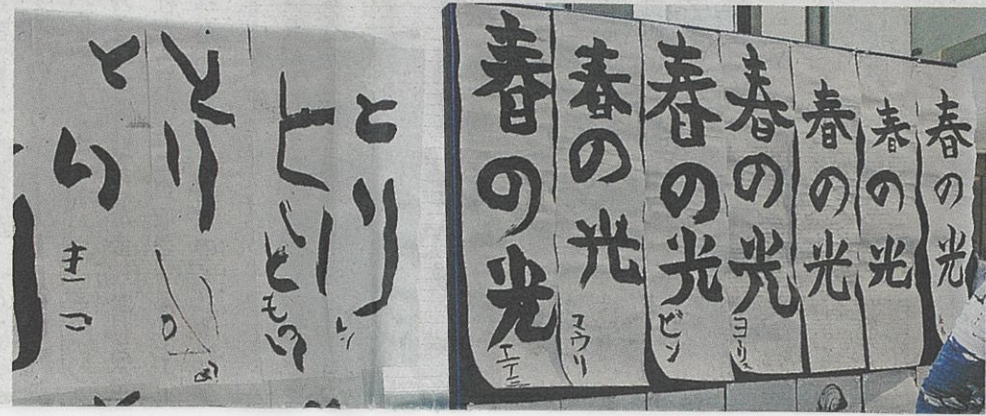


嘉悦ケンブリッジ教育文化センターは、1994年2月、嘉悦学園(東京)とケンブリッジ大学ニューホール(現在はマレイ・エドワーズ・カレッジ)の特別提携によって設立された。教育プロジェクト、国際会議、コンサート、展示会などが開催され、日英の教育・文化交流の場となっている。



津軽三味線

も。英国で津軽三味線の演奏活動をしている一川響さんと教え子のみなさんによる「津軽じょんから節」花笠音頭」の演奏に、観客は手拍子や「やっしょーまかしょー」のかけ声とともに楽しんだ。他にも合気道や居合道、生け花、日本舞踊などが会場内ではさまざま



石巻日日こども新聞

発行 Kids Media Station  
 一般社団法人キッズメディア・ステーション  
 kodomokisha.net  
 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 5-3-47-202  
 ☎FAX 022-721-3143

コラボレーション・パートナー  
 愛する地域を未来の笑顔につなげます  
 石巻日日新聞  
 〒986-0874 宮城県石巻市双葉町8-17  
 ☎0225-95-5231  
 FAX 0225-94-5960

# 震災に負けない「愛」

## 北上デ・リーフデ



▲ガラスハウスの向こうに広がる青空



▲作物は上に伸ばすので高いところの作業もある



▲トマトコーナー

鈴木さんは農業の他に北上川の葦を使って、茅葺き屋根をつくる仕事をしてきた。「東日本大震災がおきたとき、ここに住んでいました。」「ここ」とは、石巻市北上町釜谷崎地区のこと。震災で壊滅し、居住禁止区域になってしまった。しかし、鈴木さんはどうしてもこの場所にこだわった。「ハウスを建ててもよいことになったのでこの場所

鈴木嘉悦郎さんは昭和22年生まれの69才。石巻市北上町釜谷崎の出身だ。今、「デ・リーフデ北上」でオランダ式の次世代園芸農業に取り組んでいる。釜谷崎地区は東日本大震災で壊滅した地区のひとつだ。

### オランダ式農業でト

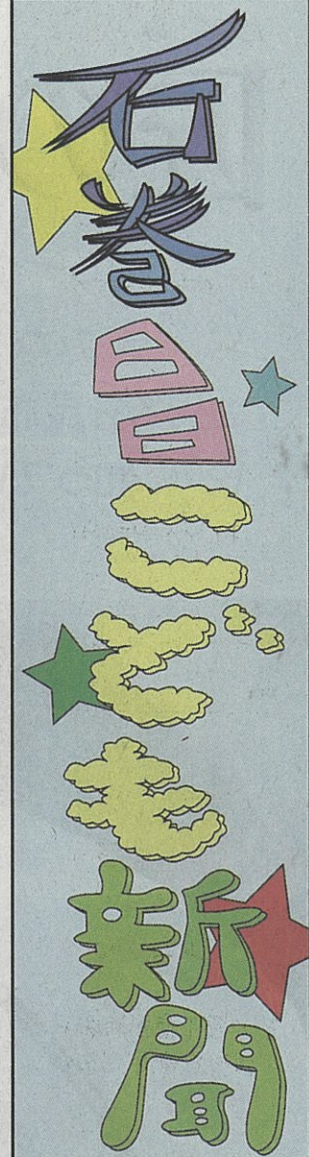
### 次世代に続け!

で再開することを決意したんです。震災の影響で、宮城県のトマトの生産量は半分になった。しかし、宮城県の気候はトマトとパプリカを生産するのに向いている。ぜひ復活させたいと思った。ハウス栽培で1年中生産すれば、冬は夏の倍の値段で売ることができると。そこで、温度と日照を管理し計画的に効率よく生産するハウス栽培に取り組むことにした。

ハウスに入らず自分でする。くつをい

産されている富丸ムーチョとパプリカは、道の駅「上品の郷」や地元のスーパードで買えるが、リッチリコピンはまだ販売されていない。生産量が少ないからだ。リッチリコピンは緑と紫がまじったような色で、赤くない。まるで小さなアボカドのよう。品種によってトマトは赤だけでなく、黄色、紫、緑などもあるそう

だ。「リコピン」にふくまれている「リコペン」は、病気の抵抗力や、余分な体内に溜め込まれるリコピン。リッチリコピンは、皮が赤い。トマトのなかで爆発的な食べやすさで1カ月ぐら



コラボレーション・パートナー

愛する地域を未来の笑顔につなげます  
石巻日日こども新聞  
〒986-0874 宮城県石巻市双葉町8-17  
☎0225-95-5231  
FAX 0225-94-5960

コラボレーション・パートナー